

モモの病害虫の発生状況（5月） 調査地点：福島地域9園地、伊達地域9園地

令和3年6月2日
福島県病害虫防除所

(1) 灰星病

花腐れの発生（4月中旬、5月上旬）は、平年同様に確認されませんでした。

(2) せん孔細菌病

春型枝病斑の発生ほ場割合（5月上旬、下旬）は、平年並でした（図1）。

新梢葉での発生ほ場割合（5月下旬）は、平年よりやや高い状況でした（図2）。

今後、梅雨期を迎え、被害が拡大するおそれがあるため、罹病部（枝、葉、果実）のせん除を徹底するとともに、晩生種や黄肉種などで本病の発生が多い場合は仕上げ摘果後直ちに袋かけを実施しましょう。また、薬剤散布は降雨前の実施を心がけましょう（令和3年5月31日付け防除情報参照）。

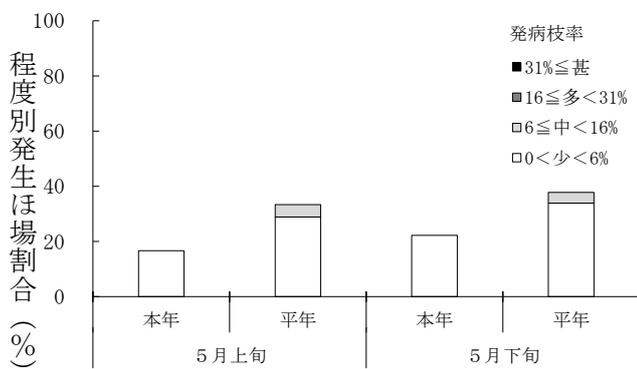


図1 春型枝病斑の発生状況（5月上旬、下旬）

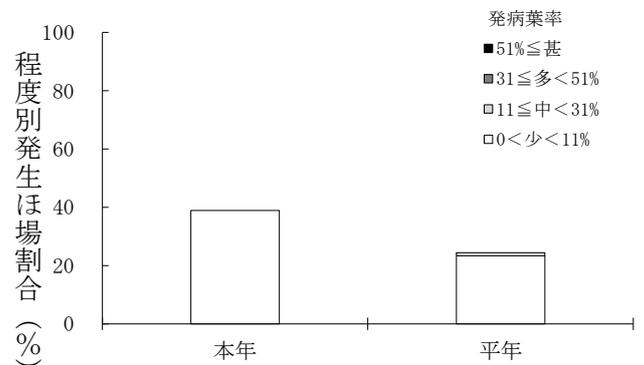


図2 新梢葉での発生状況（5月下旬）

(3) モモハモグリガ

新梢葉での発生ほ場割合は、平年並でした（図3）。

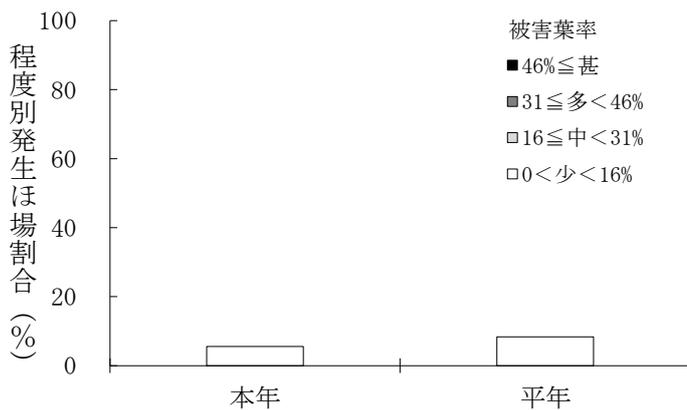


図3 モモハモグリガの発生状況

(4) アブラムシ類

新梢寄生の発生ほ場割合は、平年並でした（図4）。

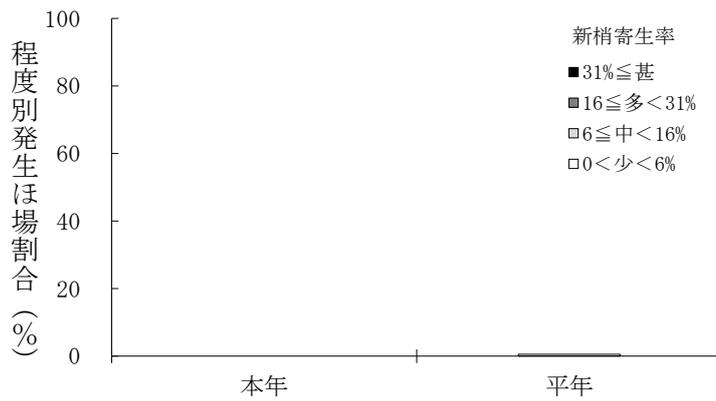


図4 アブラムシ類の新梢寄生状況

(5) ハダニ類

新梢葉寄生の発生ほ場割合は、平年同様に確認されませんでした。

(6) 果樹カメムシ類

モモへの飛来や果実被害は確認されませんでした。

指標植物（サクラ）への飛来は、クサギカメムシが会津坂下町で1頭確認されました。